

第5章 今後の取組の進め方

第1章



公共空間再編整備計画とは

第2章



まちの現況分析

第3章



まちづくりシナリオ

第4章



公共空間の再編計画



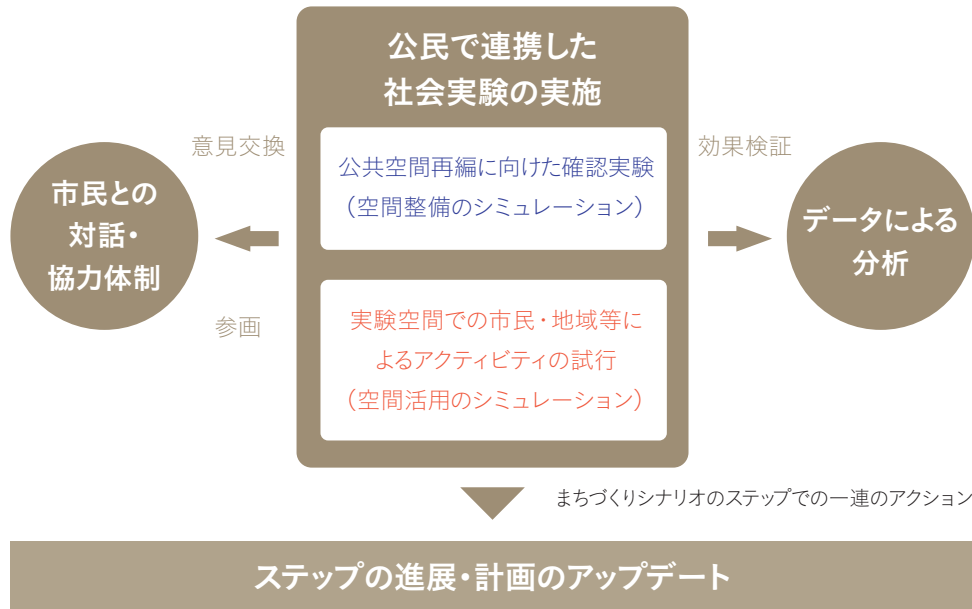
公共空間の再編は、生み出した空間を住む人・訪れる人が利活用することで、まちの活性化につなげていくための一手段であり、常に当該空間を「誰が活用するのか」を意識しながら、整備を進めて行く必要があります。

このため、以下の点に留意し、社会実験を通じて再編の取組を推進していきます。

① 社会実験を通じた「効果検証サイクル」

- ・まちづくりシナリオに沿って再編を進めて行く際には、市民とのコミュニケーションによりその内容を周知し、協力関係を築くことはもとより、計画に基づく具体の整備に向けて社会実験を行い、得られたデータを可視化し、広くその効果等を共有していきます。
- ・まちづくりシナリオの各ステップにおいて、市民との対話・社会実験・効果検証のサイクルを重ねながら、計画や事業内容の見直し・改善を含め、効果的な再編につなげていきます。

効果検証サイクルイメージ

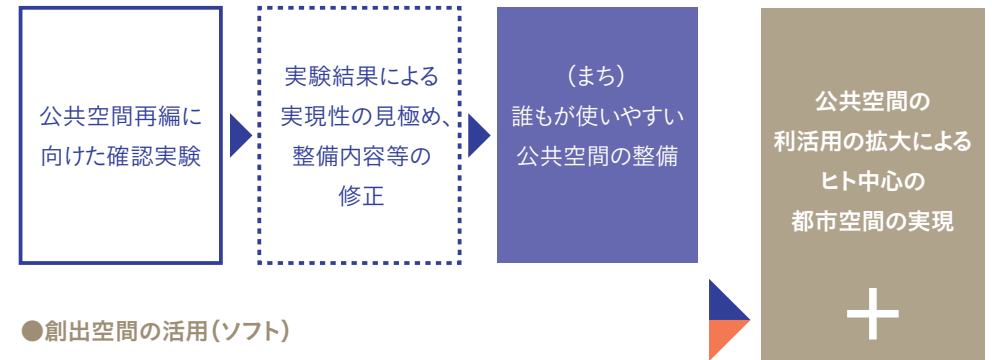


② 社会実験を通じたまち・ヒトづくり

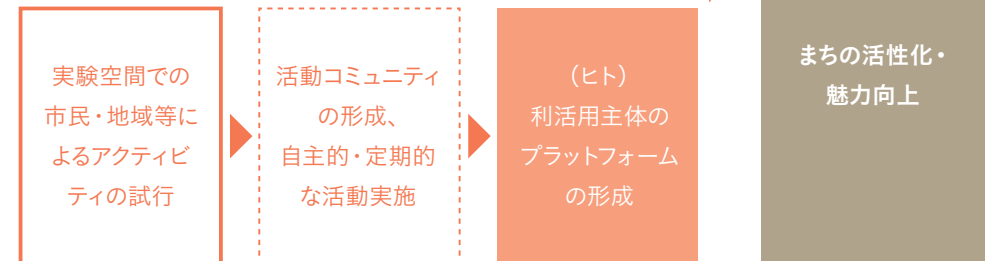
- ・社会実験には、公共空間再編(ハード)を進めるためのシミュレーションと、創出空間の活用(ソフト)に向けたシミュレーションという2つの目的があることから、ステップごとにこの2つの目的を意識して、公民で連携しながら社会実験を行っていきます。
- ・とりわけソフト面を意識して取り組む際には、「都市空間デザインガイドライン」に記載のアイデアや進め方を実践する場として活用することで、まちに関わるきっかけや携わる人を増やししながら、“つくる”整備だけでなく、“つかう”ことでにぎわいが連鎖する中心市街地をステップごとに目指していきます。

社会実験を通じたまち・ヒトづくりのイメージ

● 公共空間再編(ハード)



● 創出空間の活用(ソフト)



③誰もが参画・チャレンジできる仕組みづくり

- ・沼津市では、これまで民間支援まちづくりファンドによる活動支援やリノベーションの取組など、公民連携のまちづくりを進め、公園や河川、道路などの公共空間を活用した、民間主体によるにぎわい創出活動を支援してきました。
- ・今後、駅まち環状内をヒト中心の空間に再編し、まちの活性化につなげていくためには、当該エリア内で生み出される空間を、既に活動を実践している人々の新たな舞台として提供するだけでなく、当該エリア内でのプレイヤーを新たに増やし、活動を広げていく必要があります。
- ・このため、ソフト面を意識した社会実験の実施に向けては、空間を活用したいと思う人が自分のやりたい活動にチャレンジできる「オープンマインド」のもと、誰もが参画できる仕組みづくりを行っていきます。

社会実験を通じたまち・ヒトづくりのイメージ

参画の拡大

1.市民参加の間口を広げる

- ・まちなかデザイン会議等の開催による事例紹介、市民啓発、情報発信
- ・まちづくりの専門家などによる講習会やアドバイス支援

2.参画の機会をつくる

- ・まちづくりシナリオのステップに応じた、社会実験の実施、参加呼びかけ
- ・公共空間に必要なインフラ等に関するヒアリング

3.継続的な活動を支援する

- ・継続的なまちなかでの活動体制強化への伴走支援
- ・道路占用等の空間活用に必要な行政手続に関する相談・支援

活動同士の連携

市内でまちづくり活動を行っているプレイヤーや団体同士の交流機会の創出
都市空間デザインガイドラインを意識した空間づくり活動の支援

活動コミュニティの形成、エリアマネジメント団体等の立ち上げへ



沼津市公共空間再編整備計画

2022年6月

発行：沼津市 都市計画部 まちづくり政策課

沼津市
ホームページ

